

あとがき 私の自己紹介と変遷

名前：ミシュランえり（ビジネスネーム）

外人ではありません。日本人です。ミシュランというのは仲間が付けたあだ名です。タイヤのミシュラン君のようにブヨブヨしていて三段腹だからだと。一番上の膨らみは胸なのですが。

現在の職業：一般社団法人みんな天才化機構代表理事、

広学株式会社代表取締役

一般社団法人みんな天才化機構は、一言で表すなら能力アップのメソッドを展開する団体です。各種の講座の展開やコーチングや事業コンサルなどを行っています。

広学株式会社は一言で表すなら学習塾です。高レベルの大学を目指すお子さんから、学校に行くのが困難なお子さんまで対応しています。年に二回は生きる力を育む合宿も行っています。

私の人生山あり谷あり更年期以降の花開き

初潮期から閉経（第二ステージ）

中学1年生で父親の会社が倒産しました。それまで裕福に育っていましたが、突然貧乏生活に突入。家に押し掛ける借金取りを中1の私が対応する日々。

ブスでビンボー人の代名詞になっていたようですが、私は気付かず。日々学友から弄られていました。

高校生になると兄が交通事故から入退院を繰り返し、高額な医療費がかかるように。大学に進学したものの、極貧家庭状態で学費が払えず中退。

壮絶な夫婦喧嘩を繰り返す両親。(殆どがお金にまつわる喧嘩) 極貧の日々から逃れるように 22 歳で結婚。農家の長男の嫁となり 義父母と同居生活へ。

義父も夫も一部上場企業社員、義母は公務員、おまけに農家となれば食うには困らない筈。そうです。私は安定を望んで結婚に逃げたのです。ハッピーでルンルン！…平和で安定した生活が訪れる…と思いきや、なんとそこには家庭内暴力を繰り返す義弟が！

妊娠中に蹴られて転倒、夫に訴えるも無視され悔しい思いをしました。更にそれがきっかけとなり家族全員で壮絶な嫁虐めに発展！平和で安定した家庭どころか周囲は敵だらけ…(涙) 私のお花畑のような打算は碎けたのでした！

生まれたばかりの長女を背中におんぶして真冬の薪割りや吹雪の中での風呂焚き女中のように扱われ、マジで昭和のドラマか！？という日々。

誰も信じられず、誰にも頼れない…それでも数年は我慢しましたが、次女が産まれたことをきっかけに自立を決意。幼い長女と産まれたばかりの次女。自立といっても離婚する勇気はありませんでした。

チマチマ貯めた 100 万円を出資して洗剤販売を開始！しかし何かの間違いなのか 2 トンの洗剤が一気に届いてしまいました。焦った私は農業倉庫に入れたのですが、数ヶ月後には田植えという時

期でもあり、「バカ嫁！あのゴミを早く処分しろ！」と、またまたピンチに陥ったのです！

追い込まれた私は幼い長女の手を引き背中に次女をおんぶして、近所の鉄工所や自動車修理会社などを巡ります。これも昭和のドラマに出てきそうなお涙頂戴シーンです。その時優しくしてくれた鉄工所や自動車修理工場の方々には感謝しかありません。

周囲の方々の助けを借りて3か月で2トンの洗剤全てを売り切る事に成功！今から考えれば同情して手を貸してくださったのだと思います。（確かに良い洗剤だったのですが）

感謝！感謝！…普通ここまで人脈が広がると洗剤ビジネスを続けられると思うのです。洗剤は使えば無くなるものなので継続リピートがあります。

が、「私のやりたい事は洗剤売りではない！」となぜか洗剤ビジネスを捨ててしまいました。洗剤を気に入ってくれた方々には大変失礼なことをしたと思っています。そして、少し儲かったお金で憧れだった通訳になるべく勉強開始。

今思えば洗剤を売りながら通訳の勉強をすべきだったと思うのですが、当時の私は行き当たりバッタリで計画性は全く無かったのです。

英語の勉強を続けて、着々と実力をつけ英会話教室を開校。

地域の方々の支持を得て、なんと3教室まで拡大！一時は広島県東部で生徒数No.1にもなりました。充実した日々を送った時期です。ちょうど英会話ブームの時代に乘った感じです。

ところが、ここでも私の無計画性が変な考えと行動を起こします。自分の子どもの受験のために英会話教室拡大をあっさりやめて、三教室も有ったのをあっさりクローズ。そして大学受験対応の塾に転向。

これもよく考えれば、英会話教室をやめる必要はないのです。そしておかしなことに、ド田舎の自宅で塾を開業したのです。人間の数が6000人でサルが12000頭のド田舎。もっと街中に出すべきでしょうが、私は二人の娘の利便性しか考えておらず、自宅開業を選択しました。

それでもまだその頃は小中学校に子どもがいました。当初は沢山入塾してくれる生徒がいました。ですが、だんだんと子どもの数が減少していることは考えていませんでした。これは後々ダメージに変わるのです。

全く無計画だったことが解りますね。塾開業の時には屋号もありませんでしたから、「えりさんの家」「えりさん塾」などと呼ばれていました。

しかしながら、教えることに激アツの情熱を持って取り組んだ私は、頑張って地域子ども達を国公立大学や私立トップ大学へ合格させられるまでに成長しました。

合格実績は、京都大学（医）広島大学（医）岡山大学（医）を始めとした国公立大学。私立大学では上智、明治、学習院、同志社、関西学院、立命館、関西、近畿、甲南、京産、龍谷等。

また塾経営の傍ら、広島県内の小学校2校で10年間英語を教え、延べ2000人の児童・生徒を指導してきました。憧れだった通訳

案内士の国家資格も取得し、フリーランス通訳としての活動も加わりました。この時私は閉経期に入りました。

初潮期から閉経期までの私は、安定を求めています。振り返ると「安定していない」からこそ安定を求め、無計画に突っ走って我武者羅に成果を求めます。何とか形にはするのですが、一旦芽が出た事業を捨てて、また不安定な状況に後戻りし、また安定を目指すようなことを繰り返しているのが解ります。そして一（いち）人工（にんく）（私独り）の頑張りで何とかしてきたことが解ります。

閉経期から現在（第三ステージに入った私）

そろそろ閉経（50歳）に入り、一見すると安定したように見えた私の人生にまたまたピンチが訪れます。働き過ぎで体調悪化。年がら年中高熱を出し、腰痛で階段が登れず、それでも塾と通訳掛け持ちを続けて毎日クタクタでボロボロ。

そんな中、なんと！信頼していた塾仲間に数百万円騙され、膨大な時間を奪われるというアクシデントが発生！マジで弱り目に祟り目。子どもの大学費用を支払いながらも老後のために準備した数百万がキレイさっぱり無くなったのです。体調は悪いし解決策も見いだせません。ましてや少子化で塾業界もだんだんと先細りしています。私の塾の地域も小中学校の統廃合があり、高校も定員割れです。

塾とか学校とかは基本的にローカルビジネスです。地域の子ども人口が減っていくと先細りは避けられません。塾生の数が減っていく時に数百万が無駄に無くなるのは痛いですね。

頭を抱え込んでいたところに、人生の師となる救世主が現れました。な、なんと！騙された数百万、全てとは言いませんが取り返してくれたのです！なんとありがたい！

師匠はまるで魔法のランプの精のようで、何でも知っていました。師匠の指導の下、食を変え、着る物も変え、病院通いで薬漬けだった私が、今では体調に悩むことなんてありません。

ローカルビジネスだった塾をいち早くオンライン化してくれたのも師匠です。学習塾を法人化しましたし、更にコーチングやコンサルも教わり、全年齢対象の教育機関『一般社団法人みんな天才化機構』を設立しました。変な名前なので誰もが一発で覚えてくれる団体です。

ネスとなりましたから、気軽に相談できる仲間や人脈豊富な仲間やITを使いこなす仲間などに会いました。多彩な才能を持つ信頼できる仲間がもたらすミラクルな現象に日々驚いています。

今では受講生は子どもから大人まで、全国に広がっています。コロナ禍と少子化で教育トレンドが変わり、塾には逆風の嵐が吹き荒れる時代、全国展開していた塾仲間が次々廃業していく中で、私が描いた夢は次々と実現しています。

- ・ オリジナル教材制作
- ・ Hyper(ハイパー) Genius(ジーニアス) Method(メソッド) (頭の回転が早くなる強烈な独自メソッド)
- ・ 海外投資

- ・ コーチングメソッド
- ・ 事業コンサルメソッド
- ・ 地域活性化
- ・ オリーブ栽培
- ・ 商品化コンサル
- ・ そして出版（この本）

毎日が楽しくて仕方ありません！閉経後の方が濃密で楽しい時が流れています。

ご覧頂いて解ったように、第二ステージまでの私は心が暴れていました。やりたいことや物事の受け止め方が歪んでいたのです。支離滅裂だったと思います。そんな暴れる心をしつけて落ち着いたのが第三ステージに入ってからです。

第二ステージでの、極貧で最悪の家族関係・嫁ぎ先での虐め・窮地の中での洗剤売り・英会話教室から塾へのヘンテコな転身・体力を犠牲にしながら頑張った通訳や小学校での英語の授業…思い返すと辛いことばかり…ではなく！第三ステージの私にとっては意味が全く違ってしています。その時は確かに辛かったのは事実です。でも受け止める意味合いがその時と今では全く違ってしています。

私の受け止め方や考え方で、起きた事自体の意味が変わる事を知りました。つまり、私は第三ステージに入ってから、やっと自分の「心のしつけ」の意味を知ったのです。過去に起きてしまった事は変えられませんが、その意味合いは自分次第でどうにでもなるのです。憎いと思ってしまった方々へも今なら感謝もできます。その出来事が私を成長させてくれたと思っていますし、誰も

が私の人生にとって大切な方々だと感じています。義母とも亡くなる前には和解し、最期は私が看取りました。私のことを蹴った義弟も私の子どもたちにとって、とても良い叔父になっています。みんな成長するのです。

第三ステージの50年をしっかりとデザインして、超絶楽しい毎日を過ごし、社会を明るく照らして行きたいのが私の望みです。あなたも私と一緒に夢を実現していきませんか。

最後に

女性の人生のうちで一番長い第三ステージにいる私たち。あと50年で何を実現させましょうか。子育ても終わり、私たちは自由を謳歌できるのです。これまで培った知識と経験を自分のために役立てましょう。勿論、より良い社会のためにも。

私たちの世代の人口が最も多い今の日本。私たちが自由に豊かに輝いて下の世代の牽引役になれば最高ですね。

私たちは知らず知らずのうちに常心中でブレーキを踏んでいます。「あれをやっちゃいけない、これをやっちゃいけない」「社会人としての振舞は…」「母親らしくしなくちゃ…」「いい年こいてこんな服を着ちゃダメだよ」等々、心にいっぱい制限をかけています。心の制限は人生の邪魔をします。

何かやりたいことがあっても耳元で「そんなの無理よ」ともう一人の自分が囁きます。こんな囁きは必要ありません。いつも心を柔らかくしてだらかな気持ちで物事に取り組みましょう。

本書の中に変な挿絵が沢山入っていたことに気付いて頂けましたよね。アレ、私が書いたのです。ヘンテコでしょ？普通なら恥ずかしくて出せない絵だと思うかも知れません。でも良いのです！なんとなくイメージを伝える為の挿絵なので、下手でも良いのです。笑ってください。

貴女の人生のシナリオは貴女が書いて良いのです。演じるのも貴女。人生の監督脚本主演の全てが貴女なのです。心の制限を取り除いて貴女の心を解放すると、貴女の人生はもっと輝き始めます。心のパワーって偉大なのです。心の制限を外してアクセル全開でやりたかったことを実現させましょう！

あと50年もあるけれど、きっと過ぎてみるとあっという間の50年になるでしょう。この行動の星で沢山楽しいことにチャレンジして沢山感動しましょう。

身軽になった私たち、さあ走り出しましょう。

私の本を読んで頂きましてありがとうございます！

ミシュランえり